

井上眼科病院 同門会だより 第1回

「井上眼科病院・同門会」とは、井上眼科病院グループに勤務された先生方が中心となって作られた会です。今回より、「同門会だより」として先生方をご紹介させていただきます。

医療法人社団芳祐会 高柳クリニック 高柳芳記先生

医療法人社団芳祐会 高柳クリニックの院長高柳芳記先生は、昭和61年(1986年)～昭和63年(1988年)まで、井上眼科病院に勤務されていました。

そして、平成元年(1989年)、北海道の東南部に位置する釧路湿原とタンチョウで有名な釧路市で開業され、今年で23年目を迎えられます。今日までの白内障手術実績は一万件を超え、一日100人以上の患者さまが受診される釧路市では大きな病院です。また、2008年より「がん統合・補完医療外来」を設け、新しい医療分野を開拓されるなど、北の大地で活躍されています。



医療法人社団芳祐会 高柳クリニック 高柳先生と井上理事長

医療法人社団芳祐会 高柳クリニック  
北海道釧路市南大通 1-3-5

オススメ!

レーシック(近視矯正手術)説明会

レーシックに関心をお持ちの方、実際に検査・診察を受ける前に説明を聞いてみたいとお思いの方は、お気軽にご参加ください。ご希望の方はお電話でお申し込みください。

フリーダイヤル 0120-48-4930

■日時: 2012年7月18日、8月22日  
18:30より1時間程度

■場所: 井上眼科病院1階 ■費用: 無料

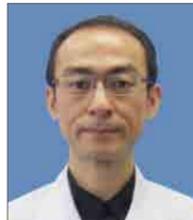


入局医師の紹介



やまもと ひろき  
山本 裕樹 医師  
(2012年4月入局)

はじめまして、こんにちは。井上眼科病院の名に恥じない、ベストな診療を行なっていきたく思います。どうぞよろしくお願いたします。



み た さとる  
三田 覚 医師  
(2012年5月入局)

歴史ある井上眼科病院で仕事ができることはとても光栄です。好きな言葉は「一期一会」。常に初心を忘れず、丁寧な診療を心がけてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。



あらい  
新井 ゆりあ 医師  
(2012年4月入局 後期研修医)

眼科一年生です。慣れないことが多く、毎日が勉強です。少しでもみなさまのお力になれるよう、努力してまいりますので、ご指導よろしくお願いします。



やまもと ち え こ  
山本 智恵子 医師  
(2012年4月入局 後期研修医)

現在休職中。  
復帰後の活躍を期待しています。  
(記: 井上眼科病院)



井上眼科病院グループ 歴史に根ざした先進の医療

西葛西・井上眼科病院 院長 堀 貞夫

井上眼科病院の歴史が「済安堂医院」から始まって131年、この歴史の重みは誰の胸にも驚嘆をもって感じられることと思います。ただ単に家名を継いで血を絶やさなかったことは訳が違います。医療、その中でも明治時代ではそれほど多くの専門家がなかったと想像される眼科で開業し、その眼科の医療を絶やすことなく平成の時代にまで引き継いだことは、日本の医療史でも特別なものと言えます。大学などの施設で色々な人が入れ替わり立ち代りして「眼科」を継続してきたものであれば、国や公の組織が後ろ盾になって支えて生きながらえられますが、個人病院の後継者たちが、たとえ周囲からの援助を得たにしても、131年の歴史を築いてきたことは他に多くはありません。しかもそ

の医療内容が先進かつ確であることが、患者さまから公正に判断されていることは、外来患者数がお茶の水と西葛西の井上眼科病院グループを合わせると1日あたり1,500名で、この数字はおそらく日本のどこの眼科医療機関を見ても比類するものはないと思います。さて、自分が新たに赴任した施設の歴史を先に褒めてしまいましたが、施設の充実と職員の意識にも私が大学に在籍していた時には見えなかったものを目の当たりしています。眼科という小さな分野の診療科のように見えるかもしれませんが、その中では多くの専門分野に別れています。例えば緑内障、白内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、強度近視、斜視弱視など、ほぼ病名に一致した数の専門分野があります。そしてそれぞれの専門

に特化した眼科医がいます。井上眼科病院グループはその専門分野の全てを担当する眼科医がいます。その数は、全国にある80校の大学医学部関連病院の眼科でこれに勝るものはありません。歴史と診療施設、医師の充実という観点から充実しています。この充実した概要下にある井上眼科病院グループの今後の使命は、「患者さま第一主義」を貫いた地域医療にあると思います。高齢化や生活習慣病にまつわる眼疾患、少子化によりますます大切にしなければならない小児の眼疾患、今後急速に発展するであろう再生医療が有効な眼疾患など、広く皆様のご期待に応じ、最高水準の医療を提供する医療施設の確立を目指してまいります。

# 井上眼科病院グループ院長就任式 開催

2012年4月21日(土) 18:00～20:00 於ホテルイースト21 東京 永代の間

昨年、井上眼科病院は創立130周年の節目を迎えさせていただきました。そして、131年目の今年4月1日より、井上眼科病院グループは、新院長を迎え、新しい体制でスタートさせていただくことになり、その就任式が執り行われましたので、ご報告いたします。

当日は、来賓、眼科医会、医師会、同門会、同族会、病診連携先、取引先、出版関係先など、総勢412名の方々にご臨席いただきました。

また、当院に30年にわたり「網膜硝子体外来・手術」でご指導をいただいている竹内忍先生などより、ご祝辞を賜りました。

過去を思う懐かしさと、新体制への期待が入り混じる、とても温かい雰囲気の中で会を執り行う事ができました。



新旧院長



井上新院長挨拶



竹内 忍先生 井上 信治様 江連 司先生



花束贈呈 若倉名誉院長へ 花束贈呈 宮永名誉院長へ

- 一、司会者より開会の辞
- 一、理事長 あいさつ 井上 賢治  
井上眼科病院新院長 あいさつ 井上 賢治  
西葛西・井上眼科病院新院長 あいさつ 堀 貞夫  
お茶の水・井上眼科クリニック新院長 あいさつ 岡山 良子
- 一、ご来賓祝辞  
竹内眼科クリニック院長 竹内 忍 様  
衆議院議員 井上 信治 様
- 一、乾杯 えつれ眼科院長・同門会会長 江連 司 様
- 一、祝電紹介
- 一、井上眼科病院名誉院長 あいさつ 若倉 雅登  
西葛西・井上眼科病院名誉院長 あいさつ 宮永 嘉隆  
花束贈呈
- 一、閉会の辞 井上眼科病院副院長 徳田 芳浩

## 新機器の導入

### マルチカラーレーザー MC-500Vixi

糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、網膜裂孔、緑内障などの疾患で、虹彩や網膜を光凝固するための装置です。凝固部位や出血の程度などに応じて、青色から赤色までの最適なレーザー波長を選択できます。



お茶の水  
西葛西

### 前眼部OCT CASIA (前眼部3次元光干渉断層計)

前眼部(角膜、虹彩、隅角等)の断層画像を3次元で撮影する装置で、レーシックセンターに導入しました。屈折矯正手術の適応検査や術後検診の際、患者さまの負担を軽減し、より正確な検査が可能になりました。



お茶の水

### エキシマレーザー Wavelight EX500

1秒間に500ショットの速さで微細なレーザーを正確に照射し、個々に適したオーダーメイドな屈折矯正手術を行います。照射速度が速いため、患者さまの負担を軽減し、乾燥等による矯正精度への影響も最小限に抑えます。



お茶の水

## お茶の水だより

### 井上眼科病院の食事について

昨日の食事を思い出してみてください。朝、昼はしっかり食べる事が出来ましたか。そして夕食はどんな献立だったのでしょうか…。その食事の中に「旬」の食材がいくつあったか数えてみてください。季節の移ろいのなか、収穫が増え値段も落ち着き、最も美味しい時期を迎えた野菜や魚介を食べる機会が減ってきたと感じる事があります。

食糧自給率の低下が問題視される中、海外から輸入される食品の多さにはただ驚くばかりです。東南アジアや南米、南半球各地から日本に届く食品は値段において国産品排除への働きを示すばかりでなく、日本人が大切にしてきた四季の感覚をも狂わせているように思えます。

当院では食材の「旬」を大切に、季節感のある

献立で入院生活の不安を和らげ、落ち着いたひと時を過ごしていただきますよう努めております。



夕食献立例

- 枝豆とコーンの御飯
- 清し汁
- 鮎の塩焼き 蓼酢添え
- もやしのわさび漬け和え
- 揚げ出し豆腐の五目あんかけ
- 前菜3点盛り  
・スモークサーモンの長芋巻き  
・スティック胡瓜のいくらせ  
・厚焼き卵
- パン

エネルギー ▶ 510kcal  
食塩相当量 ▶ 4.15 g



夕食献立例

- 御飯
- 清し汁
- 鶏と野菜のふくさ巻き
- もずくの酢の物
- 海老しんじょうと南瓜の炊合せ
- 前菜3点盛り  
・若鶏の八幡巻き  
・射込みマト バセリマヨネーズかけ  
・グリーンピースのフリット
- メロン

エネルギー ▶ 650kcal  
食塩相当量 ▶ 4.19 g

## 西葛西だより

### 「第40回 目の病気の話と相談会」のご報告(テーマ「糖尿病」～体と眼～)

4月22日、西葛西・井上眼科病院において、「第40回目目の病気の話と相談会」を開催いたしました。今回は糖尿病をテーマとし、眼科と内科からみた病気についての講演を行いました。

眼科からは、4月より当院院長に就任した堀貞夫医師が行いました。堀医師は糖尿病眼合併症を含む網膜硝子体疾患を専門にしており、実際の眼底写真を挙げ網膜症の進行についての説明や、治療後の状態など眼底写真一つ一つ丁寧に説明を行い、参加者も興味津々でした。堀医師は、「良好な視機能を維持するには、血糖コントロールや適切な時期の予防治療などが大事」と話しました。

内科からは、湘南大磯クリニックの齋藤達也院長をお招きし、「糖尿病とは?」から始まり、いくつかの症例を挙げて治療薬における血糖値やヘモグロビンA1c値の推移など、具体的で分かり易いお話をいただきました。講演の中で齋藤医師は「自分の血

糖値、特にヘモグロビンA1c値を知り、内科医のアドバイスを聞くことが大事」と話されました。

講演後の質疑応答の時間では、参加者の皆さんが普段疑問に思っていることや、ご自身の症状についてなど色々なご質問をいただき、予定時間を越す勢いでした。

今後も、皆さんに様々な病気について分かり易く親しみやすい講演会を企画するよう心掛けていきます。



講演中の堀 貞夫 医師

次回開催日のお知らせ

2012年10月28日(日)

テーマ 白内障 講師 野崎 康嗣 (西葛西・井上眼科病院)

皆様のご参加をお待ちしています。